

# 2010 年度入学試験 「出題傾向と対策」

## 国語（特待選抜入試用）

### 出題の意図やねらい（全体的な傾向など）

漢字は書き取りのみ出題します。文章題は2題（物語的文章と説明的文章）出題されます。文章を読み、問題を解いていくごとに文章全体の内容が理解できるよう出題することを心がけています。

国語では、書かれていることを正確に把握できているかがまず問われます。その上で、それをどう解釈していくかまで質問します。

### 大問題ごとの紹介（単元・レベル・小問数など）

漢字は、漢字検定5級程度を目安に出題します。文章題では、3000字程度の比較的長めの文章が出題されます。じっくりと文章に向かう姿勢を養ってください。

文章題の小問数は、6～8題程度となります。50字程度の記述や選択、抜き出しといったあらゆる解答方法の問題となります。段落や展開を意識して読み進めましょう。読み進めるたびに内容をより深く濃く把握して、文章全体の理解につなげてください。

### ポイントとなる問題など

前述したように、解答方法は様々です。つまり、様々な角度から受験生の皆さんの持っている力を探ります。その力とは、読み取る力と表現力です。したがって、解答へ向かう道筋はどのような解答方法であっても同じです。まずは自分の力で答を作り出してください。

記述の問題は配点が高くなります。また、部分点が与えられます。したがって、答えるポイントを見極めることが大切となります。それは設問で指示されています。

### 受験生へのメッセージ

小学生時代はもちろん、中学入学後も読書は欠かせません。しかしながら現在、受験勉強などでゆっくり読書をする時間があまり取れないことと思います。ですから、様々な国語の問題を解くことで多くの文章に触れてみてください。

結果に一喜一憂するだけでなく、その問題文に描かれている内容をしっかりつかんでほしいと思います。